



波田まちづくり通信



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

地域づくり講演会 モデル町会が成果を発表

3月1日(土)、絆づくり推進会議(波田地区地域包括ケア会議)は、まちづくり協議会〔総務部会〕の共催のもと地域づくり講演会を開催し、総勢50名の方に参加いただきました。

前半は、令和6年度のモデル町会に選定された6区、12区、25区の町会長等から、年度内に行った新たな取り組みについて発表がありました。

6区町会からは、コロナ渦以降中止されていた『敬老会』を4年ぶりに再開させ、待ちわびていた高齢者の方々に大変好評であったことが発表されました。

敬老会に向けた企画や準備には、町会内で発足されているボランティア団体「むつみ会」の協力があり非常に頼りになったとのこと。地域の住民同士で継続してつながりあう機会を持つことがいかに大切かをつくづく感じたと語っておられました。

12区町会からは、近所で仲間づくりをしながら健康づくりを行うサークル『和い和い♥クラブ』が結成され、町内公民館を活動拠点に毎週十数名の会員が集まり、いきいき百歳体操を中心に楽しく健康づくりに取り組んでいる活動が発表されました。

活動を行うため必要となったプロジェクターなどの視聴覚機材は、市の補助金などを活用して取得。体操のほか、保健師・栄養士から指導を受ける機会も設け、終了後は毎回茶話会を行っているとのこと。みんなでワイワイとおしゃべりしながら、楽しく活動を継続させていくことが大切だと語っておられました。

25区町会からは、婦人部とボランティアが中心となり、住民交流の場『カフェ北原』を町内公民館で開催(4回)した活動が発表されました。

町会内は高齢世代と若い世代とが混在している中、高齢者の居場所作りとともに新しい世代間交流事業が必要と考え企画されたとのこと。居心地の良い空間になるよう会場を装飾したり、テーマを決めてのおしゃべりやその専門講師をお招きするなど、毎回内容を変えながら開催しているため、参加者から大変好評を得ているようです。今後は定期的に開催することで認知度を高め、交流の場としての定着を目指し、継続して活動を行っていくと語っておられました。

後半は、松本大学の 白戸 洋 教授(総合経営学部)をお招きし、基調講演が行われました。テーマは「町会役員のかんがえ」と題し、地域の支え合い体制を担っている町会組織を取り巻く課題と、今後の町会の在り方を考える機会として講演いただきました。

町会活動は面倒だと思われる方も、近年の災害や少子高齢化時代を踏まえると、身近な地域の自治(町会)は大切であり、無くなっては困ると考えている人が大半です。

地域課題等の情報を住民同士で共有し合い、町会活動として「何をやるか」ではなく、町会活動を「何に向かってやるか」という目標を明確にし、地域の再生でなく、時代に合わせて新しい地域を創る「地域の再構築」が必要だと語っておられました。



(モデル町会事業発表の様子)

【お知らせ】

仁王尊股くぐり祭 (第35回)

- 日時 令和7年4月19日(土)・20日(日)
午前9時30分～午後4時00分
- 会場 波多神社南隣 仁王門

夫婦堤音楽祭 (第20回)

- 日時 令和7年4月27日(日)
午前10時00分～正午
- 会場 中沢屋内ゲートボール場





波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」



スージーちゃん

波田まちづくり通信



スイカワくん



学校応援団 小学校の給食配膳を支援

まちづくり協議会(地域連携部会)の加入団体である「学校応援団」は、4月11日(金)から14日間、この春に入学した小学1年生の給食時間に配膳支援活動を行いました。

この活動は、入学したばかりの新1年生に対し、慣れない配膳をクラス全員に先生が一人で指導することは大変なため、昨年度から団の活動として支援しているものです。

期間中、毎日各クラスに1名が交替で入り、延べ56名の地区住民の皆さんに協力いただきました。

今年の新1年生は128名。早く学校生活に慣れ、地元の食材を食べて元気にすくすくと健康に育っていかれることを願います。今年度もまちづくり協議会では、地域の子どもの地域で育てていく活動を支援していきます。



(給食配膳支援の様子)

波田堰沿い 親水公園を児童が再整備

松本市立病院西側の親水公園内に「東屋」があることをご存知でしょうか。

この東屋は、「波田堰土地改良区」と「波田堰の水辺を活かそう会」が水辺の自然環境に親んでもらうことを目的に平成18年に整備したもので、堰沿いを散歩する住民の皆さんの休憩場所になっています。東屋の天井には、波田地区で見ることができる野鳥の写真と名前が紹介されています。

昨年度、波田小学校6年4組の児童の皆さんが、総合学習の一環として、老朽化により傷んでいた東屋と木柵の補修と塗装、花壇の整備、ゴミ拾いなどの作業を担ってくれました。




授業の中では、地区に多大な恵みをもたらすことになったこの堰の歴史とともに、水辺の生き物や野鳥の生息状況を調べるなど、一年を通して自然に触れ合いながら水の大切さと環境について学びました。

これから新緑がみなぎる季節となり、自然豊かな波田堰沿いは散歩するのに絶好のコースとなります。ぜひ、児童の皆さんが「みんなで楽しめる憩いの場所に」との想いを込め、力を合わせて再整備してくれたこの東屋を訪れてみてください。



(東屋補修作業の様子)

【協力者を募集】	つむぎちゃんサポート協力会員	草刈りボランティア
	<p>社会福祉協議会では、高齢者の在宅生活を支援する有償サービス「つむぎちゃんサポート」をしていただける協力会員を募集しています。 (波田地区の会員登録は現在16名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■支援内容 家事、ゴミ出し、外出 ■申込先 松本市社会福祉協議会 (Tel 25-7330) 	<p>まちづくり協議会(地域連携部会)では、地区の環境美化・保全に向け、草刈りボランティアを募集しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■実施日 6月28日(土)・8月23日(土) (午前8時から午前10時頃まで) ■整備場所 波田堰沿い万葉植物園 ■申込先 波田まちづくり協議会事務局 (Tel 92-3001)

【お知らせ】	オンライン相談窓口をご利用ください	 電話だけだと説明がわかりにくい。	  書類を見ながら、説明を受けられる。
	<p>オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。</p>		



波田まちづくり通信



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

第20回を節目に 最後の「夫婦堤音楽祭」

4月27日(日)、夫婦堤周辺の美化運動に取り組む市民団体「山毛櫨(ぶな)の会」主催の「夫婦堤音楽祭」が、11区の中沢屋内ゲートボール場で盛大に開催されました。

この音楽祭は平成14年から始められ、地元小中学生等が出演する春の音楽イベントとして、地区に定着してまいりましたが、中学校の部活動が地域クラブなどに移行されることとなり、今後この活動を継続していくことが困難になったことから、今回20回目を節目に最後を迎えることになりました。

波田中学校の合唱部と吹奏学部、波田少年少女合唱団が出演し、美しいハーモニーの歌声や迫力ある演奏が披露され、来場者からは一曲一曲に惜しめない拍手が送られました。最後、主催者である野竹会長は、「長い間この活動を続けられてきたのは、地域の皆さんが支えてくれたおかげ。」と感謝の言葉をつたえました。この音楽祭を通じ、一緒に歌を歌い奏でることの楽しさとその一体感の魅力に取りつかれた子どもたちもきっと多いはずです。今回をもって長い歴史に幕が閉じられたことは非常に残念ですが、青春の思い出として記憶に残していってくださることを願います。



(長い歴史に幕 夫婦堤音楽祭)

令和7年度 波田まちづく協議会の事業が決定

5月8日(木)、波田まちづくり協議会は令和7年度の総会を開催し、新役員の選任、事業計画及び事業予算などの議案が全て承認されました。今年度も活動へのご支援・ご協力をお願いします。

■ 新役員(正副会長)

◎会長 齋藤 章

○副会長 塩原 宗登

○副会長 増田 博

(町会連合会会長(4区町会会長))

(町会連合会副会長(6区町会会長))

(町内公民館長会会長(4区町内公民館長))

■ 事業計画 「波田地区住民が生き生きと輝くまち」をめざして ~地域住民、諸団体等が連携した事業推進を~

事業名	事業概要	事業名	事業概要
【総務部会】		【地域連携部会】	
地域包括ケアシステム関係	モデル町会推進事業への支援	防犯・防災の地域づくり	波田地区防災訓練への支援
	地域づくり講演会等への支援		防災研修会の計画・実施
	大いなる波田健康体操の普及		あいさつ運動への協力
地区関係事業への参加協力	くらしのささえあい情報冊子の改訂	地域連携(ボランティア推進等)	草刈りボランティア・特定外来生物駆除
	市民スポーツ大会等への参加支援		仁王尊股くぐり祭への支援
【企画・情報部会】	波田文化祭・ひろばまつりへの参加・協力		緑化(花いっぱい運動)推進への協力
	文化伝承・保護活動	【循環バス運行部会】	
情報発信	ホームページの維持管理と充実化	循環バス	バスの安全、安心運行の徹底
周知・啓発	まちづくり通信の発行		地区住民等のバス利用増の推進
10年ビジョン「波田まちづくり計画」	課題等の整理と方向性の検討		バス停設備の保守
	素案作成~計画策定		

【お知らせ】

オンライン相談窓口をご利用ください

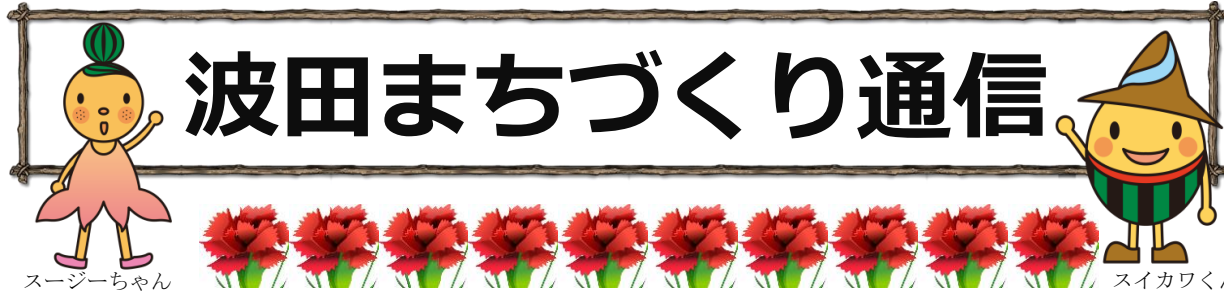
オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

47年目 今年も「竹の子教室」始まる

未就園児対象の親子の体力づくり教室「竹の子教室」が、5月20日（火）に波田体育館で開級されました。

この教室は、昭和53年から続く波田公民館独自の取り組みであり、今年で47年目を迎えました。今年の参加親子は43組で、地区外からも大勢参加いただいています。

親子での運動や遊び、体力テスト、野外遊び、情操教育、救命講習など、専門の指導員によるプログラムが12月までの間に44回予定されています。

地域に生まれた大切な子どもたちが、すくすくと伸びる竹の子のように、心も体もたくましく健やかに育ってほしいとの願いから開始されたこの活動は、長い歴史を持つ波田地区の大きな財産です。子育てを始められた保護者の皆さん、ぜひご参加ください。



(竹の子教室 開級式の様子)

三溝フラワーゾーン 力を合わせて整備

5月24日（土）・25日（日）、「波田花のある会」は、三溝駅西側国道沿いのフラワーゾーンに、ペコニア（ピンク・白）とサルビア（赤）の花の定植作業を一齐に行いました。

今年の参加は個人・法人を含め33会員。割り当てられた区画にルール通りの花の順番で定植し、今年も見事な花の街道が完成しました。

国道や上高地線を利用されている方々の中にも、この沿道の眺めを毎年楽しみにされている方は多いと思います。「花を通じて人々の気持ちを豊かに」との願いを地区住民の皆さんも共有してくださることを望みます。



(定植作業の様子)

小学2年生 波田支所内を見学

6月中旬、波田小学校2年生児童は、生活科学学校探検授業の一環として、自分たちの住む波田地区のことを知ることを目的にクラスごと波田支所に訪れ、支所庁舎内に事務所を置く、波田地区地域づくりセンター、波田公民館、西部福祉課、社会福祉協議会地域福祉課（西部）、松本広域連合のそれぞれの機関がどんな仕事をしているかを学習する見学会を実施しました。

現在は松本広域連合議会で使用している5階議場内も特別に見学させてもらい、児童たちは大喜び。将来は総理大臣になると宣言した頼もしい児童もいました。



(議場見学の様子)

【お知らせ】

オンライン窓口をご利用ください

オンライン窓口とは、地域拠点（地域づくりセンターなど）と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと

説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。



波田まちづくり通信



スージーちゃん

スイカワくん



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

ジモトで座談会 (波田地区) を開催

6月25日(水)、波田公民館(大会議室)において、臥雲市長出席のもと「ジモトで座談会(波田地区)～市長と明日のまちを考えよう～」を開催しました。

座談会のテーマは「地域で育む波田地区の子どもたち」と題し、地区で子育て支援活動を行っている関係団体の代表者、各保育園の保護者会長、波田小・中学校PTA会長、計16名の出席のもと、次の4項目についての状況や課題等について、市長を交えて率直な意見交換を行いました。

- 地区内の子育て支援活動について
- 地区内の子育て事業・環境等について
- 子どもの成長に向け地域活動に期待したいこと
- 中学校の部活動地域移行について

座談会の模様は、松本市公式ホームページ〔地域の掲示板_波田地区_松本市から(波田地区)〕にレポートを掲載していますのでぜひご覧ください。



(座談会の様子)

波田地区防災部 防災訓練の実施結果

6月29日(日)等に実施した松本市防災連合会波田地区防災部の防災訓練結果をおたえします。

大規模地震を想定した「一時避難訓練」については、別日程で行った町会も含め26町会が実施し、参加世帯率は87%と、昨年(71%)を上回る皆様にご参加いただきました。

「避難所開設訓練」には、9箇所の避難所に各運営委員と避難所担当職員が参集し、施設の開錠方法と避難所アクションカードの指示書に従って開設に向けた行動内容の把握を行うとともに、防災倉庫における備蓄資機

材の確認作業を行いました。なお、町会長を通じお寄せいただいた本訓練に関するご指摘や課題等については、防災部で検討・協議を行い改善していきます。



(防災倉庫内の確認)

犯罪にご注意! ~波田地区防犯協会~

令和6年中に波田地区で発生した犯罪件数は39件ありました。前年と比べ5件減少しましたが、依然として高い水準にあります。

夏はレジャーや帰省などで家を空けることが多く、戸締りがおろそかになりがちです。また、気分も開放的になり犯罪被害に遭うおそれが高まります。油断をせず、防犯意識を高めてしっかり対策を行いましょう。

令和6年中の波田地区内犯罪件数…39件(前年比 △5件)

凶悪犯	(殺人・強盗・放火など)	1件
粗暴犯	(暴行・傷害・脅迫・恐喝など)	1件
知能犯	(詐欺・背任・横領・偽造行使など)	2件
器物破損	(財産物を故意に壊す行為)	1件
内訳	占有離脱物横領(遺失物・漂流物を横領)	5件
	窃盗犯(忍び込み・倉庫荒らしなど)	4件
	”(万引きなど)	18件
	”(自転車窃盗)	7件
		計 39件

松本警察署波田交番調べ

オンライン窓口をご利用ください

オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。

【お知らせ】



波田まちづくり通信



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

つむぎちゃんサポート会員 研修・交流会開催

7月8日(火)、波田公民館において、松本市社会福祉協議会の有償サービス「つむぎちゃんサポート」に登録いただいている波田・梓川地区の協力会員合同で、研修会兼交流会を開催しました。

研修には、日赤奉仕団波田分団の皆さんを講師に迎え、有事の際の炊き出し支援を目的に、ハイゼックス(炊飯袋)を用いた炊飯方法を学ぶとともに、カレーを一緒に作り食べながら、会員同士の意見交換会を行いました。

現在のところ、梓川地区のサポート会員登録者数が少ないため、波田地区の会員が応援に出向いています。双方の地区会員が交流を深めながら、今後も高齢者の自立生活支援を行っていきます。



(炊飯方法を学ぶ様子)

波田中央運動広場 移設後の新施設概要

松本市立病院の移転に伴い移設することになった「波田中央運動広場」の新施設概要をお知らせします。

移設場所は波田保健福祉センターの南側隣接地です。工事は令和8年1月頃に着工し、令和8年12月の完成を予定しています。

施設規模等は次表のとおり、駐車場スペースも広くとられ、これまでの施設と同様のスポーツ競技を行うことができる面積が確保されています。

この施設が、地域住民の健康増進やスポーツを通じた交流の場として、大いに活用されることを期待します。



(新施設の完成予想図)



施設概要	項目	既存施設(波田駅前)	新施設	説明
	面積	9,076㎡	9,076㎡	14,464㎡
駐車場		5台	61台	・障がい者専用台数含む
照明		水銀灯(6基)	LED灯(6基)	・光漏れの少ない製品を導入
トイレ		男・女	男・女・多目的	・男(小3、大1)、女(3)、多目的(1)、AED設置
防球ネット		高さ 約1.4m	高さ 約14.9m	・防砂ネットを取付け
軟式野球		大人1面又は少年2面	大人1面又は少年2面	・固定式バックネット(北西)
ソフトボール		2面	2面	・可動式バックネット(南東)
サッカー		大人1面又は少年2面	大人1面又は少年2面	・可動式サッカーゴール

【お知らせ】

波田地区 地域づくり講演会 (波田地区「絆づくり推進会議」主催)

『人生100年時代の健康心理学 - 老いをちょっぴり楽しむための、心の健康の秘訣! ? - 』

- 日時 9月27日(土) 午後2時00分~午後3時30分
- 場所 波田公民館 大会議室(2階)
- 講師 齊藤 茂氏(松本大学 准教授 人間健康学部スポーツ健康学科長 臨床心理士)



【司法書士無料法律相談】「法の日」にあわせ、「県下一斉司法書士無料法律相談」の相談所を開設します。



- ◆ 日時 10月1日(水) 午後1時~午後3時
- ◆ 場所 波田公民館 第1・第2会議室(2階)
- ◆ 相談内容 不動産の登記、相続、多重債務など
- ◆ 申し込み 波田支所 ☎92-3001 (先着8名 締め切り9月30日(火) 正午)



波田まちづくり通信



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

松本山雅ウォーキングサッカー教室を開催

8月6日(水)、波田福祉ひろばは、波田地区子ども会育成会との共同企画として、夏休み中の児童の健全育成を目的に「松本山雅ウォーキングサッカー教室」を波田体育館で開催しました。

ウォーキングサッカーは、「走らない」、「ボディコンタクトなし」が基本ルールで、年齢、性別、障がいの有無や、サッカー経験を問わずにどんな方でも一緒にプレーでき、健康増進、認知症予防、介護予防など、運動予防医療としても注目されているスポーツです。

当日は、3年生から5年生の小学校児童と、ひろばの「男衆のひろば」事業に参加している男性メンバー総勢30名が集まり、松本山雅の皆さんの指導のもと世代を超えた交流競技を行いました。暑さにも負けず、みんな笑顔で楽しい時間を過ごしました。



(ボール競技を楽しむ様子)

波田扇子田運動公園 全面利用可能に

中部縦貫自動車道(松本波田道路)建設に伴い、一部施設の移転工事が行われていた「波田扇子田運動公園」が、10月末から全面的に利用できるようになります。

今年6月には、「ラジコンコース」、「壁打ちテニスコート」、「3×3バスケットボールコート」、「スケートボード場」、「クライミングウォール」、遊具を備えた「芝生広場」が先行オープンし、今月末には駐車場整備や既存施設の解体が終わり、全ての工事が完了する予定です。

B&Gプール南側の芝生広場内には、公園全体の回遊性を向上させるため、隣接する東側と西側の新しい公園

を結ぶ新たな遊歩道が設けられています。

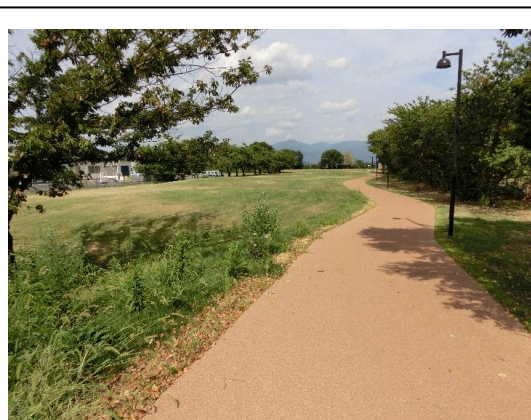
新しく生まれ変わった公園にぜひいらしていただき、家族や友人との親睦や健康づくりにご活用ください。



(移転した芝生広場)



(新しくなったクライミングウォール)



(新たに設けられた遊歩道)

【お知らせ】 ~ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ~

オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。



波田まちづくり通信



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

地域づくり講演会 心の健康の秘訣を学ぶ

9月28日(土)、絆づくり推進会議(波田地区地域ケア会議)は、まちづくり協議会〔総務部会〕の共催のもと、波田公民館において地域づくり講演会を開催し、町会役員の皆さんを始め総勢49名の方に参加いただきました。

今回は、「人生100年時代の健康心理学 - 老いをちょっぴり楽しむための、心の健康の秘訣!?! -」をテーマに、波田地区における地域包括ケアシステムの目標、『「元気」で活動する高齢者づくりと高齢者に感謝する人づくり』に向け、年々歳を重ねていく中で、自分自身のメンタルを健やかに保つためには、どう意識し日々の生活を送ることが必要かを学びました。

講師は、臨床心理士でもある松本大学の齊藤茂 准教授(人間健康学部スポーツ健康学科長)。

「私の考える、心の健康の秘訣」と題し、著名な心理学者の参考文献をもとに10のヒントを解説、提言いただきました。

高齢になるほど心と体の結びつきが強くなり、心の状態が悪くなると免疫機能が低下する傾向に。適度なストレス、心配、苦しみは成長や行動の原動力にもなり得るが、その量が許容量を超え積み重なると、心身に深刻な影響を及ぼすことになるとのこと。人体には疲労やストレスを軽減する器官である副腎(アドレナル)があるが、蓄積されると疲労物質を分解できないことも。ストレスへの対処法として、「1日に30秒の短い休憩」、「ゆっくり深呼吸」、「自信のないときにも強いポーズ」、「人の悪口を言わない」、「笑顔を心掛ける」、「ゆとりを持ってゆっくり動く」などを挙げ、副交感神経の回復などをもたらす行動を心掛け、自分の体と心に耳を傾け、無理をせず自分のペースで暮らしていくことが大切だと語っておられました。

また、人は「生きがい」に支えられて生きているものであること。「生きがい」を感じるためには、自分がやりたいことをやることが大切であり、その行動そのものが「生きがい」につながることも。心理学という面から健康状態を知り、対処方法を学ぶことができた有意義な講義でした。



(講演会の模様)

波田小学校 北校舎・講堂の工事が完了

令和5年から進められていた波田小学校の第1期改良工事(北校舎・講堂)が今年8月に完了し、児童たちは2学期から使用できるようになりました。

普通教室やワークスペースの床や腰壁などには、木材がふんだんに取り入れられ、明るく温もりのある空間に生まれ変わりました。

続けて第2期改良工事(南校舎・屋内運動場)が10月から始まり、完成は令和9年3月となる予定。最終の第3期改良工事(特別教室・管理棟など)まで完了するのは、令和10年12月の予定となっています。



(生まれ変わったワークスペース)

【お知らせ】 ~ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ~

オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。

波田まちづくり通信



松本市広報 R7-6



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

今年も 波田文化祭・ひろばまつり を合同開催

10月25日(土)・26日(日)の二日間、波田公民館において、「波田文化祭」と「ひろばまつり」の合同イベントが開催されました。

日曜日はあいにくの雨天となりましたが、二日間で延べ約2,300人の皆様に来場いただきました。

波田まちづくり協議会(総務部会)は、波田産のもち米を使った恒例の「餅つき大会」を企画し、参加した子どもたちに、自分の歳の数を目標に餅をついてもらいました。達成すると歓声とともに大きな拍手が周りから沸き起こり、会場全体が一体感に包まれました。



(餅つきイベント会場)

カタクリ群生地 環境整備作業を実施

11月1日(土)、波田まちづくり協議会(地域連携部会)は、16区町会の上海渡集落にある「カタクリ群生地」の環境整備作業を地元住民とともに実施しました。

群生地は、元々桑畑であった山裾の斜面に自生した山野草を、地主の協力のもと地元ボランティアが環境を整え保護されてきたものですが、高齢化により地元だけで整備を行っていくことが困難になったことから、令和4年からまちづくり協議会で支援を行っているものです。

今回は32名が参加。来春も可憐で美しい花を咲かせてくれることを願いながら作業を行いました。



(整備作業の様子)

ひばりヶ丘段丘林 枝伐採を市に要望

10区と18区の町会長は、市有地である「ひばりヶ丘段丘林」の整備について、松本市長あてに要望書を提出しました。〔9月18日(木)提出〕

波田堰沿い南斜面に広がる10区ひばりヶ丘の段丘林は、ケヤキ等の立木が高木となり、枯葉等が周辺住宅に落下し生活環境に悪影響を及ぼしています。さらに、市立病院移転先である中央運動広場から臨める場所となり、景観環境にも配慮する必要があることから、中野副市長に状況説明のうえ、枝等を伐採するよう要望しました。副市長からは、次年度整備に向け調整していく旨の回答を得ました。



(副市長に要望書を提出する様子)

【お知らせ】 ~ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ~

オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。

波田まちづくり通信



スージーちゃん



スイカワくん

松本市広報 R7-6



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

小学校クラブ活動 公民館サークルが指導

波田まちづくり協議会（地域連携部会）は、今年度も波田小学校のクラブ活動に公民館サークルの皆さんを講師として派遣する活動を行いました。

今年度のクラブ活動は11月に集中して3回実施され、「写真」、「囲碁」、「将棋」、「折り紙アート」、「ビーズ手芸」、「茶の湯」のクラブに、各分野のサークル団体から22名の皆さんが指導にあたってくれました。

子どもたちの成長には、地域社会と連携して学ぶ機会を与えることも必要です。人との関わりを増やすことで、社会性が高まることとなりますので、今後も地域の力で子どもたちを育てていけるよう活動を継続していきます。



(囲碁の指導を受ける様子)

中央運動広場 解体工事が完了

松本市立病院の移転場所である波田中央運動広場の解体工事が12月に完了し、フェンスや照明が取り外されたことから敷地全体が見渡せるようになりました。

運動広場は、営林署の苗圃であった敷地の払い下げを受け、昭和59年に町が整備したもので、これまで41年間にわたり、地区の屋外スポーツ振興拠点として住民に親しまれてきました。新たな施設ができるまでは、梓川地区の施設を利用できることになっています。

新しい運動広場は、波田保健福祉センターの南側隣接地に建設予定で、完成は令和8年12月頃となります。



(解体後の中央運動広場敷地)

波田小4年1組 避難所運営を体験学習

波田小学校4年1組のクラス児童は、「防災」を総合的な学習の時間のテーマとし、「避難所の運営」についてシュミレーションしながら学習する取り組みなどを行いました。

授業は4月から12月にかけて行われ、VR（仮想現実）を用いた地震体験、段ボールベッドや簡易トイレなどの組み立て方や使い心地の検証、市販防災食の試食やハイゼックスを使った炊き出し体験のほか、避難所運営組織を児童が役割分担して運営を考えてみる試みも行いました。

この学習を通じ、有事の際はみんなで対応を考え、お互い協力し、助け合っていくことの大切さを学びました。



(12月の炊き出し体験の様子)

～ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ～

オンライン窓口とは、地域拠点（地域づくりセンターなど）と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。

【お知らせ】



波田まちづくり通信



松本市広報 R7-6



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

赤十字奉仕団波田分団 視察研修を再開

12月22日(月)、松本赤十字奉仕団波田分団は、コロナ禍以降中断していた視察研修を再開しました。

今回は、長野市にある日本赤十字社長野県支部を訪問し、献血による血液事業の状況や頂いた寄付金の活用事業について説明を受けた後、同敷地内にある「長野県赤十字歴史資料館」を見学させていただきました。

長野県支部は全国に先駆け明治22年に設置された最初の支部であり、現存する明治32年に建てられた旧事務所は、全国で唯一の歴史資料館として貴重な歴史資料等が保存・展示されています。

奉仕団は、赤十字の理念に基づき地域社会に貢献するボランティアグループとして、災害時の炊き出し・救護、高齢者・障がい者支援、献血推進、救急法講習の普及、赤十字PR活動など、地域ニーズに応じた多岐にわたる奉仕活動を行っているもので、地域住民の福祉向上と防災・減災に貢献する重要な役割を担っています。

これまで困難な時代も乗り越え、地域に根差した活動を行ってきた日赤の歴史を振り返ることができ、団員一同、深く感銘を受けると同時に、大きなやりがいと誇りを感じた一日でした。



(歴史資料館を見学する様子)

お知らせ

「波田地区 地域づくり講演会」を開催します

地域づくりの取り組みを行う町会の3つの事例を発表します。

そして基調講演は、波田地区出身でパラアルペンスキー日本代表として5大会連続出場した三澤 拓(みさわ ひらく)さんからご講演をいただきます!!

■ 日時 2月22日(日) 午後2時00分～午後4時30分

■ 場所 波田公民館 大会議室(2階)

◇事業発表 令和7年度モデル町会(12区、13区・14区(合同)、19区町会)

◇基調講演 「多様性を考える ～自分で切り拓く力～」

講師 三澤 拓 氏



松本市波田出身の38歳
2006トリノパラリンピックから2022北京パラリンピック
まで5大会連続出場
順天堂大学院スポーツ健康科学研究科修士課程卒
SMBC日興証券株式会社所属

■主催：絆づくり推進会議 ■共催：波田まちづくり協議会



※お申し込みは上記QRコードまたは波田地区地域づくりセンター(☎92-3001)へ

【お知らせ】

～ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ～

オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。



松本市広報 R7-6



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

6年ぶり開催 「波田落語会」に笑いの渦

1月15日(木)、波田公民館で6年ぶりに開催した新春「波田落語会」には、波田まちづくり協議会(総務部会)も共催し、地区内外から80名以上の皆さんに会場いただき大盛況でした。

出演は、真打の「柳家 権之助(やなぎや ごんのすけ)」さんと、二ツ目の「入船亭 扇兆(いりふねてい せんちょう)」さん。

演目は、言葉の選び方一つで人間関係がどう変わるかを描き、人と人とのコミュニケーションの大切さを感じさせる「垂乳根(たらちね)」と、冷静さを失った対話が問題をいかにこじらせるか、そして冷静な対話がいかに重要かを示唆した「天狗裁き」など、5席の噺を披露していただきました。

来場者からは、「時間が経つのを忘れるほど引き込まれた。」「心から笑えてストレス解消になった。」などの感想も。生で見る落語の迫力と魅力、奥深い世界を充分堪能することができ、会場は終始笑いの渦に包まれていました。



(新春「波田落語会」の様)

「地域連携バス」を利用してみませんか



波田地区には、波田まちづくり協議会で運営している「波田循環バス」のほか、波田駅前を起終点に、山形村から朝日村へ向かう「朝日・波田線」と、JR大糸線の梓橋駅前へ向かう「梓川・波田線」の公設民営バス(ぐるっとまつもと 地域連携バス)が走行していることをご存知でしょうか。

このバスを利用することで、運転免許を返納された方でも、山形村や梓川地区へ買い物などに出掛けることができます。限られた路線本数であるため時間帯に制約がありますが、利用してみたいかごでしょうか。時刻表や停留所など、詳しくは松本市ホームページをご覧になるか、波田支所ロビーにパンフレットを置いてありますのでお持ちください。

■ アイシティ21周辺への買い物バスプラン例 R7.3.15改正ダイヤ(R8.3.14に改正予定)

バス停留所名		プラン① 平日・土曜日	プラン② 平日・土曜日	プラン③ 平日・土曜日	プラン④ 平日・土曜日	
朝日・波田線バス	・波田駅前	発	10:20	10:20	12:10	14:00
	・アイシティ21	着	10:38	10:38	12:28	14:18
	(買い物時間)		(1時間2分)	(2時間47分)	(3時間30分)	(1時間40分)
	・アイシティ21	発	11:40	13:25	15:58	15:58
・波田駅前	着	11:58	13:43	16:16	16:16	
【所用時間】		【1時38分】	【3時23分】	【4時06分】	【2時16分】	

◆運行日 平日・土日
(日曜・祝日、12/29~1/3は運休)

◆運賃
…大人 210円/1乗車
(3/14から230円/1乗車 ただし、キャッシュレス決済は一律20円割引)
…福祉100円バス乗車パス券をお持ちの方 100円/1乗車

◆バス停留所
波田駅前のほか、区内では県道塩尻鍋割穂高線沿いに6か所あります。

【お知らせ】 ~ 波田支所「オンライン窓口」をご利用ください ~

オンライン窓口とは、地域拠点(地域づくりセンターなど)と市役所本庁をWeb会議ツールで接続し、本庁まで行かなくても手続きできる窓口です。窓口と同じように、お互いに書類を見ながら話すことができます。お気軽にご利用ください。



電話だけだと説明がわかりにくい。



書類を見ながら、説明を受けられる。